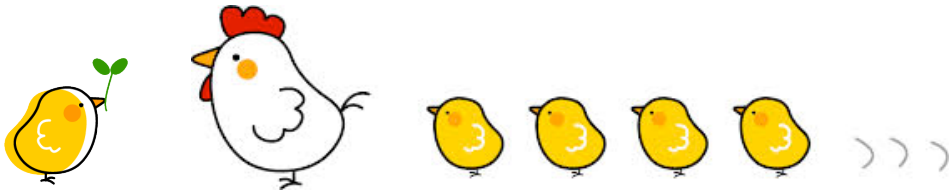
おやこであそぼう
～ 絵本と、わらべうたの時間 ～

2016年 4月20日



☆絵本・紙芝居

ならんだ ならんだ（福音館書店）作：やすえりえ／絵：わきさかかつじ

のびのび おはよう（福音館書店）作：こばやしえみこ／絵：池谷陽子

はーい！（童心社）作：間所ひさこ／絵： 山本祐司

☆わらべた・童謡

♫チューリップ

さいた　さいた　チューリップの花が
ならんだ　ならんだ　あか　しろ　きいろ
どの花　見ても　きれいだな

♫たけのこ　めだした（わらべうた）

たけのこ　めだした
はなさきゃ　ひらいた
はさみで　ちょんぎるぞ
えっさ　えっさ　えっさっさ

♫つぶどん（わらべうた）

つぶどん　つぶどん　どんつぶどん
どろだのなかの　どんつぶどん

☆こころとからだのおはなし（３月のお話　旧約聖書「イザヤ書43章１～7節」）

先日、NHKスペシャル『ママたちが非常事態!?　２』という番組がありました。ご覧になった方も多いのではないでしょうか。

生まれてくる赤ちゃんは、今も昔も変わらないはずなのに、現代の子育てママが、これほど不安を抱え、孤独なのは何故なのかを分析、解明していました。

「子育ては、本来、共同養育」であったけれど、核家族化などの生活形態の変化で、 身近に相談できる人も助けてくれる人もおらず、ママがたった一人で子どもと向き合い、自分の育て方が悪いのではないかと、悩んだり、奮闘していると伝えていました。

こんなふたつのうたがあります。

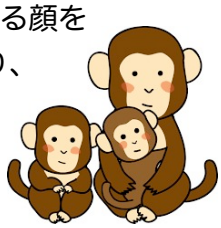
♪わらべうた

ぼうず　ぼうず　かわいときゃ　かわいけど　にくいときゃ　ペション

♪中国地方の子守唄

ねんねこ　しゃっしゃりませ　寝た子の　かわいさ
起きて　なく子の　ねんころろ　つらにくさ・・・

子どもがご機嫌よく笑ったり、遊んだりしている姿や、すやすやと寝ている顔を見ている時は、かわいさ、愛おしさだけなのに、火の付いたように泣いたり、イヤイヤしたり、親自身の思うようにならないと、 悲しくなったり辛くなったり、そして、ついつい子どもにあたってしまったり・・・なんてことは、どの時代のお母さんにも、あったのですね。

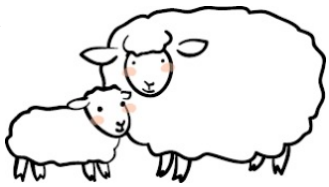


イザヤ書43章に「わたしの目にあなたは値高く、貴く」という言葉があります。親の目に映る子どもは、無償の愛情を注ぎ、無性にかわいく、値など量ることのできないほど貴いものであるでしょう。

でも、決して、誰もが最初から完成された親ではないのです。

子どもを育てることによって、親も段々、親として成長していくのではないでしょうか？

一人で苦しんだり悩んだり、辛い思いをしていないで、誰かに話してみませんか？



また、お近くに悩んでいるお母さんがいらしたら、話を聞いてあげてください。

子育てを終えたおかあさんたちが、異口同音に「誰かに話したところで、問題が解決するわけではないのだけれど、聞いてもらったり、お互いに打ち明けたりするだけで、ただそれだけで、気持ちが軽くなるのよ」と、 子育ての大変な時期を振り返りながら、話してくれました。

思うようにならない子育てかもしれませんが、目の前のお子さんのありのままの姿を受け入れ、言葉を聞き、サインを見ながら、おこさんの素晴らしい面を延ばしてあげてください。

かみさまの目には、悩んだり、苦しみながら頑張るお母さんの姿も、いつも貴いものとして映っていると思います。

紹介本

＊あかちゃんと ちゅ（ブロンズ社） 作・絵：キム・ドンス

＊おこだでませんように（小学館）作：くすのきしげのり／絵：石井聖岳

＊ことりはことりは木でねんね～韓国のこもりうた～（童心社）作・絵：チョン・スニー

＊よじはんよじはん（福音館書店）作：ユンソクチュン／絵：イヨンギョン

＊ちょっとだけ（福音館書店）作：澤村有子／絵：鈴木永子

＊もっかい！（フレーベル館）作・絵：エミリー・グラヴェット

（今月の紹介本は、お母さんに向けての絵本です）

お問い合わせ
クリスト・ロア修道会
℡０４２（４６５）８６２０